

【西区】令和元年第3回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和元年9月25日 16時00分 ～ 17時27分
場 所	西区役所4階4A会議室
出席者	<p>【座長】 荻原隆宏議員</p> <p>【議員：2名】 清水富雄議員、荻原隆宏議員</p> <p>【西区：14名】 寺岡洋志区長、松井達也副区長、宮川淳一消防署長、塚本光俊福祉保健センター長、小黒大治福祉保健センター担当部長、川北好伸土木事務所長、ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成30年度個性ある区づくり推進費決算状況について</p> <p>2 令和元年度西区主要事業の進捗状況等について</p> <p>3 令和2年度西区予算編成の基本的な考え方(案)について</p> <p>4 その他</p>
発言の 要 旨	<p>【平成30年度個性ある区づくり推進費決算状況について】</p> <p>【令和元年度西区主要事業の進捗状況等について】</p> <p>【令和2年度西区予算編成の基本的な考え方(案)について】</p> <p><平成30年度個性ある区づくり推進費決算状況></p> <p>清水議員：予算額と決算額に大きな差がある事業について、発生原因や業務に支障が発生していないかなど詳細を聞きたい。</p> <p>田丸総務課長：予算額と決算額に100万円以上の差がある事業は3事業ある。放置自転車対策事業と広報充実事業は、当区の設定金額を下回る金額で落札されたことにより、不用額が発生した。実際の業務は適切に履行されたため、支障は発生していない。</p> <p>一方、区総合庁舎等環境整備事業は、西土木事務所資材置き場の万年堀について倒壊の恐れがあり、緊急対応を行った結果、超過額が発生した。</p> <p><地域防災活動推進事業></p> <p>清水議員：台風15号の関連で何点か聞きたい。</p> <p>土砂災害警戒区域の住民に対して避難勧告等を出した場合の実際の連絡手段などはどうなっているのか。</p> <p>避難所の開設について、公的な避難所とは別に自治会館等を避難所として開設する場合、どのような対応になるのか。</p>

台風15号では停電による影響が課題とされたが、福祉避難所のうち、ガス式発電機を配備している施設は何施設あるのか。急傾斜地について県や市による調査が行われているようだが、どのような目的で実施されているものなのか。

西区は第一地区から第六地区及びみなとみらい地区に分かれているが、消防団の担当区域と一致していないため、分かりづらさがある。今後の課題として捉えてほしい。

田丸総務課長：土砂災害警戒区域に避難勧告等を発した場合、職員が対象世帯を1件ずつ回り、声かけとポスティングにより避難を呼びかけている。

自治会館等を避難所として開設する場合、鍵開け等で自治会長に協力を仰ぐことになるが、深夜の時間帯や雨風が激しい時間帯を避けるなど、依頼のタイミングは配慮しながら行っている。ガス式発電機を配備している福祉避難所は、地域ケアプラザ4施設と障害者地域活動ホーム2施設の計6施設ある。

急傾斜地の調査は、県が土砂災害特別警戒区域の指定に向けて実施しているほか、市として出水期等を中心に崖地の見回りや台風後の状況調査などを目的として実施している。

街中の区割り等をすぐに整理することは難しい。誤解や混乱を招かないよう、広報等を行う際は十分に配慮していきたい。

荻原議員：災害情報の到達のタイミングや内容について聞きたい。

台風15号の際、携帯電話会社からのエリアメールが最も早く到達し、ほぼ同じタイミングで横浜市からの災害情報メールが届いたが、内容に違いがあり、どちらの情報か正しいのか判断に迷った。初動に悩みが生じてしまったところに課題を感じているが、それぞれの仕組みや特徴を説明してほしい。

田丸総務課長：エリアメール等の発信方法や内容については、今回の事態も踏まえ、局とも相談しながら整理していきたい。

なお、危険度の高い地域に対しては、個別訪問や巡回広報による直接的な広報を実施するなど、きめ細かく対応している。今後も様々な情報伝達手段を駆使して、対応していきたい。

<「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進>

荻原議員：第4期計画に関するアンケートの集計状況を聞きたい。

内田福祉保健課長：単純集計が完了したところで、今後10月末までにクロス集計を完了させる予定。その後、12月に推進評価委員会に結果を報告する。

＜商店街及び「まち」のにぎわい創出事業、
地域資源を活用したまちの回遊性向上事業＞

荻原議員：インスタグラムやツイッターについて、区民の反応はどうか。
また、区民との直接的なやりとりなどはあるのか。

インスタグラム等は世界中の方が見られるので、外国人に対する広報手段として活用できると良い。また、区民が撮影した写真を掲載するといった区民参加型のツールとして活用するというような展開の仕方も検討してほしい。

松井副区長：インスタグラム等の今後の事業展開においては、区民参加の視点も含め、情報発信ツールとして活用方法を検討していく。

清水議員：ベイバイクについて、ポート別の西区内のポートも年々増加し、日本人だけでなく外国人が利用している姿も度々見かける。全体的に利用者数が増加する中、ポート別順位では西区内のポートが利用率1位と聞いている。西区としてもベイバイク用のマップを作成するなど、事業推進を図っているが今後の展開を教えてください。

寺岡区長：ベイバイク用のマップは、西区の名所・旧跡を回ってもらうために作成したもので、回遊ルートの提案などベイバイクを利用するきっかけになればいいと考えている。また、スマートフォンへの対応と情報の鮮度を保つため、デジタルマップを整備した。今後、掲載情報の拡充を進め、情報提供ツールとして強化していきたい。

＜交通安全事業＞

清水議員：自転車の交通安全について、自転車専用道路の整備が進んでいないことなどに安全面での課題を感じている。

自動車も含め、自然とスピードを落とさせるような仕掛けが必要。事故を防ぐための取組等について聞きたい。

寺岡区長：自転車を含む交通安全への対策については、例えば、戸部警察署から交通事故の発生状況データを提供してもらい、マップ上に注意情報を掲載するといった対応などが考えられる。今後も継続して対策を検討していく。

森土木事務所副所長：ハード面では、ハンプと呼ばれる道路の一部を隆起させ上下の振動で運転者に減速を促す構造物を設置するなど、具体的な対策を実施していく。

<家計のやりくり応援事業>

清水議員：生活困窮者の家計改善に活用するために作成したワークブックについて、事前に内容を見させてもらったが、大変良くできている。西区独自の取組ということだが、今後の展開を教えてください。

岩井生活支援課長：生活支援課の事業で活用するほか、庁内他課や地域の支援機関にも提供し、活用してもらおうと考えている。
また、来年度は利用者の意見を参考にして内容を改訂するとともに、より多くの方に活用してもらうために増刷を行う。
最終的には、全市に広めていきたいと考えている。

<子育て支援の推進>

清水議員：臨床心理士とは、こういった資格なのか。

また、保育所等の職員を対象とした事業と3歳児健診時の保護者を対象とした事業があるが、それぞれの特徴を知りたい。

富澤こども家庭支援課長：臨床心理士は、国家資格ではないが公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する資格で、臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、人間の心の問題にアプローチする心の専門家。

臨床心理士は、それぞれ得意な領域があるため、保育所等の職員を対象とした事業では、成人への関わり方を得意としている臨床心理士による研修等を実施している。また、3歳児健診時の事業では、こどもの発達を得意としている臨床心理士による個別相談事業を実施している。

<西区民まつり>

荻原議員：西区においても、今後ますます外国人住民が増加していくことが想定されるが、ごみの出し方や病気にかかったときの対応など暮らしの安全安心に関する情報提供の重要性が高まっていると感じている。

そこで、西区民まつり等の地域イベントへの外国人住民の参加を促進し、イベントの場を活用して情報共有を進めるというような仕掛けを検討してほしい。

西野地域振興課長：西区民まつりの最近の出展事例では、スペイン料理を販売する団体によるスペイン文化の紹介等があった。また、別の視点では、外国人住民の小学生を対象とした日本語学習の支援教室に参加している児童とその家族に対して区民まつりへの参加を促すといった取組などを検討している。

今後も外国人住民を含めた様々な方に参加してもらえるよう工夫していきたい。

【その他】

<西区における開発動向等>

清水議員：開発動向に関わる感想と要望事項について何点か発言したい。横浜駅周辺地域の雨水幹線の整備にあたって、岡野公園の利用が大きく制限されるが、利用者を含めた関係者の理解があつてこそ事業の推進が図られている。関係者に敬意を表してしっかりと進めてほしい。

久保町防災広場等は、長年の経緯を経て、ようやく現在の方向でまとまることになったので、最後までやり遂げてほしい。

東横線廃線跡地について、現在整備されているのはほとんどが中区の部分だが、今後、西区の部分も整備が進んでいくことになるので、西区として活用方法の検討を早めに進めてほしい。

連節バスに関連して、横浜駅のバスターミナルは車椅子の方などが使いやすい環境になっていない。接続バスの事業開始をきっかけにバリアフリー環境の整備を進めてほしい。

村上区政推進課長：円滑な事業進捗に向けて関係局への働きかけを継続するとともに、西区としての企画・検討も進めていく。

荻原議員：野毛山公園プール跡地がどのようなランドスケープになるのか、詳細についてどの程度検討が進んでいるのか教えてほしい。

村上区政推進課長：環境創造局内部で検討している段階で詳細が決まっていない。今後、進捗状況に合わせて情報提供していく。

備 考